



ポジ育通信⑩

「ポジ育」とは…

一人一人の子育てを今より少しでも楽しく、前向きに取り組めるよう、ポジティブに育児に関わることを願って付けた名前です。



R6.10.2 子育て委員会 副会長:藤原/教頭:藤原

在宅型取組「おうち先生から学ぼう」への取組ありがとうございました

少しずつ秋の気配が感じられる頃となり、朝晩の風が心地よい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。夏休みには、在宅取組として「おうち先生から学ぼう」への取組にご協力いただき、ありがとうございました。長い休みを利用し、多くの方に取り組んでいただけたこと、感謝申し上げます。そして、一人一人の感想に目を通してると、写真やイラストから子ども達の笑顔や笑い声が聞こえてくる気がします。きっと、家族にとって素敵な時間を過ごしていただけたことと思います。少し、遅くなりましたが取組の一部をここで紹介させていただきます。

PTA 家庭教育学級（夏休み在宅型取組）

PTA 家庭教育学級（夏休み在宅型取組）

おうち先生から学ぼう

1年2組

おうち先生【おなあさん】
おしえてもらったこと せんたくほし

イラストまたは写真

チャレンジしてかんじたこと・できたときのきもち・じょうずにやるためのコツは？

たおるはびんびんにのびてほお
たのしがた。

おなあさんいつもこんなことしてるんだね

おうちせんせいから ひとこと

せんたくものほし、おとくだいしてくれてありがとう。
また、よろしくね!!

PTA 家庭教育学級（夏休み在宅型取組）

PTA 家庭教育学級（夏休み在宅型取組）

おうち先生から学ぼう

5年2組

おうち先生【いこのお母さん】
おしえてもらったこと いこのレシピで鶏肉ハム作り

イラストまたは写真

チャレンジしてかんじたこと・できたときのきもち・じょうずにやるためのコツは？

写真のせか、いた鶏肉が思ったより厚くて
せかるのが大変だった。完成したのを食べてみたら
とてもおいしいお肉らしい」といって大うれしかつた。

おうちせんせいから ひとこと

上手に出来たね！この鶏肉ハム、その厚み食べるとよみ、サクサクに入れても、サンドイッチに
挟んでもいいし、電マアレンジして美味しい食が完成だね！
滑りやすいと切があるよ、お仕事してるお母さんの身振りに合わせて、丁寧に作ってね！
お母さん、またよろしくね!!

家族の皆さんと、少し難しいことに挑戦した子ども達には、楽しい思い出と共に、素敵な心の成長があったのではないのでしょうか…。子ども達の感想から下記のような学びがあったと感じました。

- ★家族(大人)への憧れ、リスペクトや苦労や感謝等の気付き
- ★上手く仕上げるコツや方法・知恵
- ★苦労してできたときの喜び・達成感
- ★上手いかなかった時の乗り越え方
- ★励ましや賞賛から得た自信
- ★生きる力や生きていくための知恵・工夫

お母さんは、毎日こんな大変なことをしていたんだね…。
ぼく、また手伝うよ!





せんせい まな
おうち先生から学ぼう



4年2組

おうち先生【おはちかみ】

おしえてもらったこと たまごやきつくり

イラストまたは写真

チャレンジしてかんじたこと・できたときのきもち・じょうずにやるためのコツは？

たまごやきをまきまどするところがむずか
しかったです。またお母さんにまたおべんとを
つくってあげたいです。

おうちせんせいから ひとこと

初めて作っただけで、上手にできましたね!!
おべんと作るときに楽しみに行事ががんばりました。
また作ってくださることを楽しみにしています!



せんせい まな
おうち先生から学ぼう



3年2組

おうち先生【あかあさみ】

おしえてもらったことハンバーグの作り方

イラストまたは写真

チャレンジしてかんじたこと・できたときのきもち・じょうずにやるためのコツは？

ハンバーグはいろいろな食ざいをまぜ合わせて
作っていること知りませんでした。丸く作るのとどのおときま
にまん中を少しへこめるとキレイに焼けます。

おうちせんせいから ひとこと

いっしょけんめい作ったハンバーグ。とてもおいしかったです。
コネコネする作業ががんばりました。
またいっしょにお料理しようね。

紙面の関係で紹介できませんが、おうち先生からこんな素敵なことを教えてもらっていました。

- お盆にご先祖様をお迎える方法
- テントの張り方 餃子のつくり方
- 魚の3枚おろし
- 車の洗車 ウクレレ演奏
- 野菜の収穫



学校では学べない、生活や人生をを豊かにする学びばかりですね。

「子どもの成長を感じました。」「手先の器用さに驚きました。」「これからは、色々と子どもに任せてみようと思います。」等、保護者の感想欄には、子どものよさや成長に気づき、子ども達の努力や頑張りを認める温かい言葉がたくさん添えられていました。

毎日忙しく働く者にとっては、なかなか子どもとじっくり向き合うことが難しいと思います。こうした機会を親子のつながりのチャンスと捉え、上手に利用しながら家族のコミュニケーションを図っていただくと幸いです。

子どもの頃の「体験」は、未来社会を担う子どもたちの健やかな成長を確かなものにします！！

21世紀出生児縦断調査で回答されたデータを再分析したところ、小学生の頃に体験活動(自然体験、社会体験、文化的体験)や読書、お手伝いを多くしていた子どもは、その後、高校生の時に自尊感情(自分に対して肯定的、自分に満足している、など)や外向性(自分のことを活発だと思ふ)、精神的な回復力(新しいことに興味を持つ、自分の感情を調整する、将来に対して前向き、など)といった項目の得点が高くなる傾向が見られました。また、小学生の頃に異年齢(年上・年下)の人とよく遊んだり、自然の場所や空き地・路地などでよく遊んだりした経験のある高校生も同様の傾向が見られました。このことから、小学生の頃に行った体験活動などの経験は、長期間経過しても、その後の成長に良い影響を与えていることが分かりました。

17歳(高校2年生)の「自尊感情」の得点

